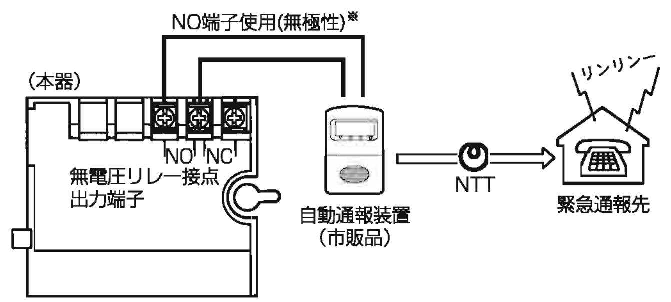
2．無電圧リレー接点出力への接続

右図のように市販品の自動通報装置の外部入力端子へ接続することにより、緊急通報先（知人宅、会社、携帯電話やPHS）へ連絡することができます。

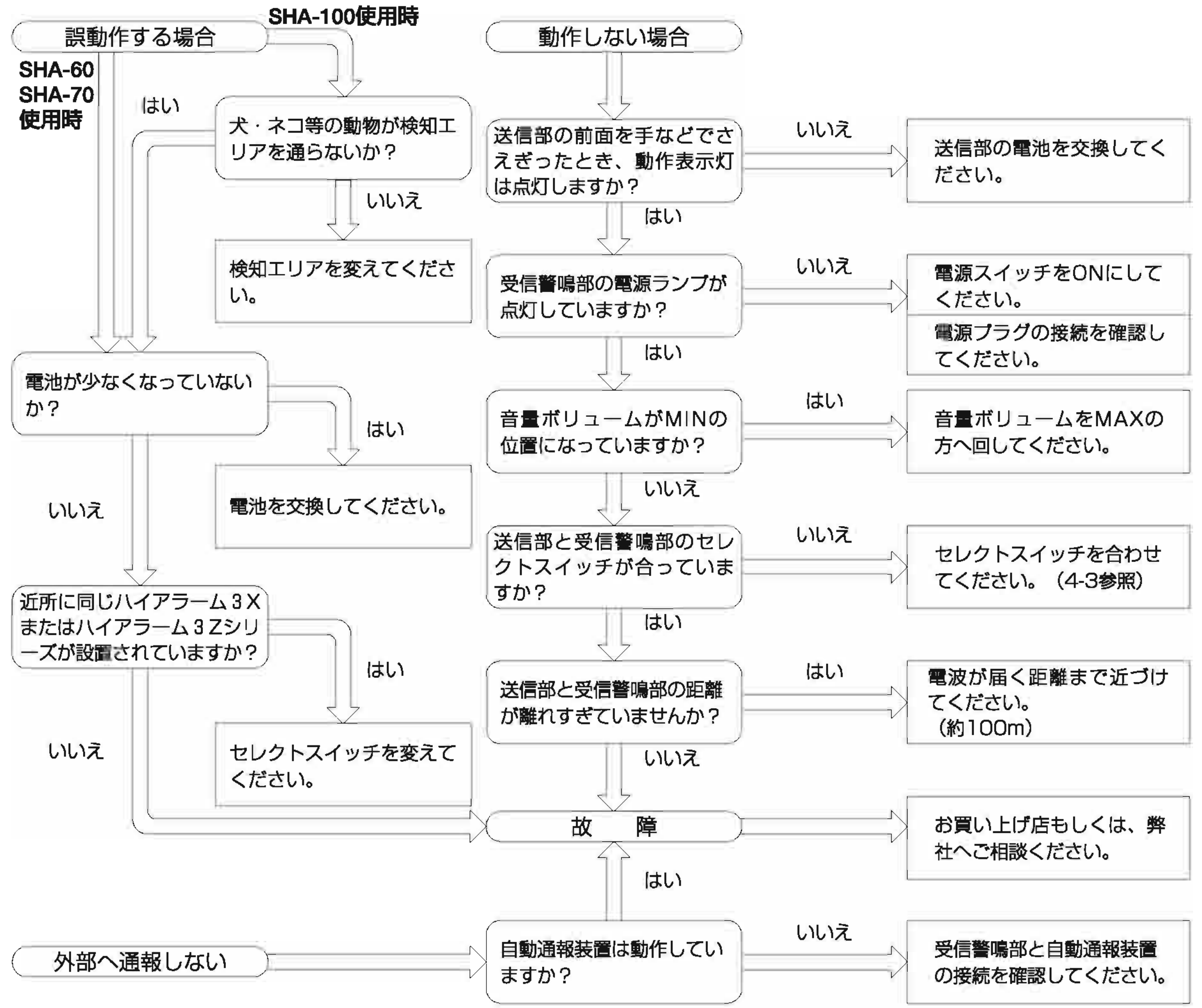
※自動通報装置等によっては外部入力端子がNC入力のものもあります。その場合は、NCの出力端子と接続してください。

電源内蔵形の外部警鳴部(別売)の使用例


NO端子使用(無極性)※
(本器)
NO
NC
無電圧リレー接点出力端子
自動通報装置（市販品）
NTT
リンリン
緊急通報先

7 機能点検要領

- 本器が動作しない時、または誤動作する場合は、故障と判断する前に下図に従って点検してください。


誤動作する場合
SHA-100使用時
SHA-60
SHA-70
使用時
はい
犬・ネコ等の動物が検知エリアを通らないか？
いいえ
検知エリアを変えてください。
電池が少なくなっていないか？
はい
電池を交換してください。
いいえ
近所に同じハイアラーム３Ｘまたはハイアラーム３Ｚシリーズが設置されていますか？
はい
セレクトスイッチを変えてください。
いいえ
外部へ通報しない
動作しない場合
送信部の前面を手などでさえぎったとき、動作表示灯は点灯しますか？
いいえ
送信部の電池を交換してください。
はい
受信警鳴部の電源ランプが点灯していますか？
いいえ
電源スイッチをONにしてください。
電源プラグの接続を確認してください。
はい
音量ボリュームがMINの位置になっていますか？
はい
音量ボリュームをMAXの方へ回してください。
いいえ
送信部と受信警鳴部のセレクトスイッチが合っていますか？
いいえ
セレクトスイッチを合わせてください。（4-3参照）
はい
送信部と受信警鳴部の距離が離れすぎていませんか？
はい
電波が届く距離まで近づけてください。（約100m）
いいえ
故　障
お買い上げ店もしくは、弊社へご相談ください。
はい
自動通報装置は動作していますか？
いいえ
受信警鳴部と自動通報装置の接続を確認してください。

8 使用上のご注意

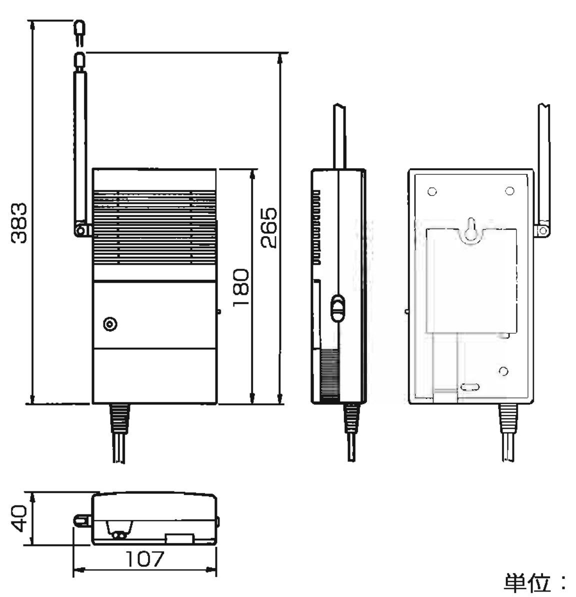
- 本器と送信部（別売）との電波到達距離は約100mです。ただし、取付場所、昼夜の別により到達距離は、短くなることがありますので、取り付け時十分確認してください。
  - 送信部との受信警鳴部の間にスチールドア、鉄筋コンクリートなどの金属製の障害物がある場合。
  - 送信部または受信警鳴部の取付面が金属製の場合。
  - 放送局などの強い電波を出している場所の近く。
  - 高圧線などの電気的ノイズを多く出している場所の近く。
  - 本器のロッドアンテナがいっぱいまで伸びていない場合。
- 本器のお手入れは軟らかい布で空拭きするか、中性洗剤を薄めた水で拭き取ってください。ベンジン、シンナーなどの薬品は、表面の変色、変形の原因となりますのでご使用しないでください。

9 仕　様

小電力セキュリティシステムの無線設備 受信警鳴部・主装置　SHA-300X	
電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	待機時 1.5W　動作時 3W
受信周波数	426MHz帯
出力	1.○報知音：3音　○非常音：1音 (1) ピンポン (2) ポロロン　ピーポーピーポー (3) ピッピッピッ 音圧：約0～75dB 可変（前方1m） 2.無電圧リレー接点出力（NO、NC接点） 最大接点容量：AC50V、DC24V、0.2A
電源/信号ランプ	通電時：緑色灯　点灯 受信時：赤色灯　点灯
使用温度範囲	−10℃～+40℃
質量	530g
設置場所	屋内壁面
付属品	木ネジ　2本

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

〈外 形 寸 法〉


383
265
180
40
107

単位：mm

※本器を廃棄するときは産業廃棄物として処理してください。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

·札幌支店	TEL.(011)822-1251㈹
·旭川出張所	TEL.(0166)37-5830㈹
·東北支店	TEL.(022)243-2141㈹
·盛岡出張所	TEL.(019)636-1581㈹
·郡山出張所	TEL.(024)921-7131㈹
·東京支店	TEL.(03)3526-5402㈹
·多摩営業所	TEL.(042)572-4911㈹
·横浜支店	TEL.(045)651-2557㈹
·厚木出張所	TEL.(046)225-6102㈹
·埼玉支店	TEL.(048)652-3311㈹
·宇都宮営業所	TEL.(028)659-1100㈹
·新潟営業所	TEL.(025)276-2166㈹
·茨城営業所	TEL.(029)826-5341㈹
·千葉支店	TEL.(043)253-1121㈹
·木更津出張所	TEL.(0438)23-6281㈹
·柏出張所	TEL.(04)7192-1681㈹
·静岡営業所	TEL.(054)281-0141㈹
·浜松営業所	TEL.(053)461-6885㈹
·中部支店	TEL.(052)919-6531㈹
·松本営業所	TEL.(0263)27-7801㈹
·豊橋営業所	TEL.(0532)69-2370㈹
·三重出張所	TEL.(059)226-1643㈹
·金沢支店	TEL.(076)261-9988㈹
·富山営業所	TEL.(076)422-7878㈹
·大阪支店	TEL.(06)6304-5651㈹
·堺営業所	TEL.(072)278-5311㈹
·京都営業所	TEL.(075)382-6141㈹
·神戸支店	TEL.(078)579-8550㈹
·姫路出張所	TEL.(079)283-5920㈹
·広島支店	TEL.(082)237-5331㈹
·岡山営業所	TEL.(086)245-2948㈹
·高松営業所	TEL.(087)868-1222㈹
·松山営業所	TEL.(089)925-3826㈹
·山陰出張所	TEL.(0853)24-2343㈹
·福岡支店	TEL.(092)541-0168㈹
·北九州営業所	TEL.(093)922-6556㈹
·長崎出張所	TEL.(095)842-0780㈹
·大分営業所	TEL.(097)504-7799㈹
·熊本営業所	TEL.(096)325-0711㈹
·南九州営業所	TEL.(099)267-8211㈹
·沖縄営業所	TEL.(098)874-6202㈹

(2008年7月現在)

DXアンテナ株式会社
本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル TEL.(03)3526-6327(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00（土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く）
ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/
3920-4

DELCATEC

- このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

取扱説明書

DXアンテナの製品を正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。

無線式防犯報知警報システム

技術基準認証品

ハイアラーム3X

受信警鳴部・主装置
SHA-300X

- 本器は下記適用送信部と組み合わせて使用します。
本器単体ではどんな用途にも使用できませんのでご注意ください。また、スーパーワイヤレスシリーズとは互換性がありませんので組み合わせて使用することはできません。

●適用送信部

非常用ペンダント形送信部	**SHA-60**
浴室用押しボタン送信部	**SHA-70**
人体検知器付送信部	**SHA-100**

本器は犯罪および火災防止器ではありませんので、万一犯罪その他の事故による損害が発生しましても当社は一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

《安全上のご注意》

- ご使用の前に、この取扱説明書（安全上のご注意）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。

絵表示について：取扱説明書、および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
⃠	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
●	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

- 指定された電源（AC100V　50/60Hz）以外は使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持って行なってください。コードを引っ張って抜きますとコードが破損したり、ショートしたりして火災、感電や故障の原因となります。
- 本器は、屋内使用ですので絶対に屋外で使用しないでください。感電、火災や故障の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 本器をあけたり、分解したり、改造したりしないでください。けが、感電、火災や故障の原因となります。
- 不安定な壁面（壊れかけた壁など）に取り付けないでください。落下して、けがや故障の原因となります。
- 万一、煙が出ていたり、変な臭いがするなど異常状態で使用すると火災、感電などの原因となります。このようなときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、コンセントから電源プラグを抜き、煙が出なくなるのを確認してから購入店に相談してください。ご自分での修理は、絶対にしないでください。
- 本器の開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。
- 電源コードを引っ張ったり、傷つけたり、切断したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものを乗せたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）しないでください。火災、感電の原因となります。
コードが傷ついた場合（心線の露出、断線など）購入店に修理を依頼してください。絶対にそのまま使用しないでください。
- 万一、本器を落としたり、破損したり、異物や水などの液体が内部に入った場合は、すぐにコンセントからプラグを抜き、購入店に相談してください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

⚠注意

- 技術基準認証番号の表示しているシールを改ざんしたり、はがしたり、故意に表示を消したりしないでください。このような行為をしたものを使用することは法律で禁止されています。
- 本器と自動通報装置を接続する場合、お互いの取扱説明書をよく読み、理解してから接続してください。誤った接続をしますと非常時に自動通報装置が働かない場合があります。
- 本器は、直射日光の当たる場所、温風の吹き出し口、動作しているストーブなど高温になる場所などや水気の多い場所（お風呂場など）、埃の多い場所、油や煙のかかる場所（台所や厨房など）に設置しないでください。ケースの変形や故障の原因となります。
- 旅行などで長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本器をお手入れする際は、必ず、電源スイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。感電の原因となります。

1 はじめに

本器はハイアラーム3シリーズの非常用ペンダント形送信部SHA-60、浴室用押しボタン送信部SHA-70、または人体検知器付送信部SHA-100と組み合わせて使用します。

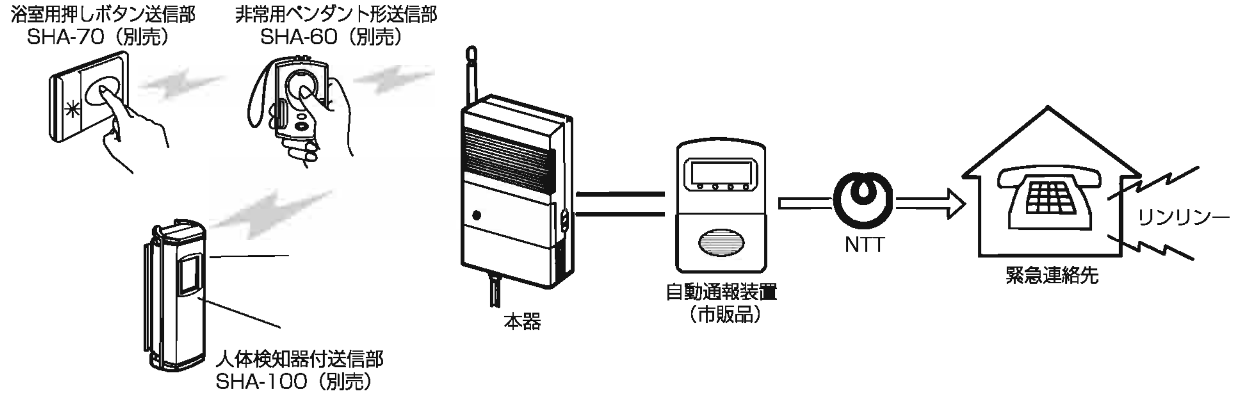
本器は前述の押しボタン送信部の送信ボタンを押したとき、または人体検知器付送信部が人体を検知して信号を送信すると、この信号を受信し、警報等により緊急通報する無線装置です。また、自動通報装置（市販品）を介して電気通信回線に接続すると、外部の電話（携帯電話等）へ通報することもできます。

この無線装置は、配線をなくして電波で連絡しているため、システムの設置・増設が容易であり、お部屋の美観を損じないという特長があります。

2 電気通信回線への接続

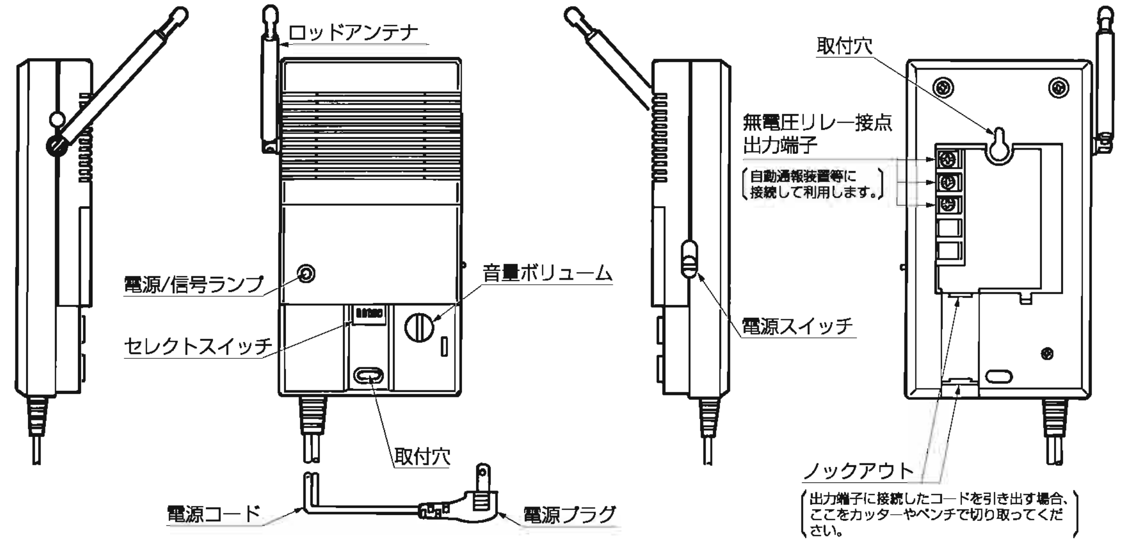
この無線装置は、電気通信回線に接続して使用することができます。ただし、本器は市販品の自動通報装置等（技術基準認証品に限ります。）を介して電気通信回線設備に接続して使用するため、利用する回線の種別は特定していません。

市販品の自動通報装置へ接続する場合は、本器の無電圧リレー接点出力端子を市販品の自動通報装置（外部入力端子のあるもの）の外部入力端子へ接続してください。


浴室用押しボタン送信部
SHA-70（別売）
非常用ペンダント形送信部
SHA-60（別売）
人体検知器付送信部
SHA-100（別売）
本器
自動通報装置
（市販品）
NTT
緊急連絡先
リンリンー

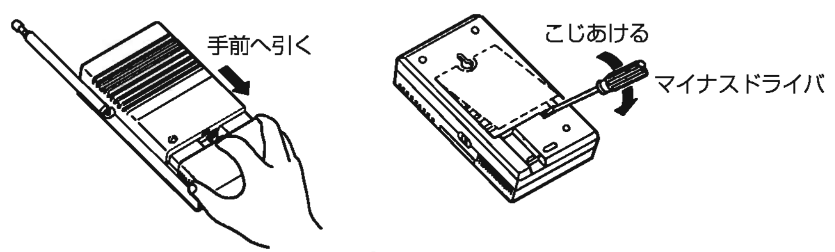
3 各部の名称

- この項の説明は、製品本体からフタをはずした状態を示しています。フタの開け方は④ご使用方法をご参照ください。


ロッドアンテナ
電源/信号ランプ
音量ボリューム
セレクトスイッチ
取付穴
電源コード
電源プラグ
電源スイッチ
取付穴
無電圧リレー接点
出力端子
（自動通報装置等に接続して利用します。）
ノックアウト
（出力端子に接続したコードを引き出す場合、ここをカッターやペンチで切り取ってください。）

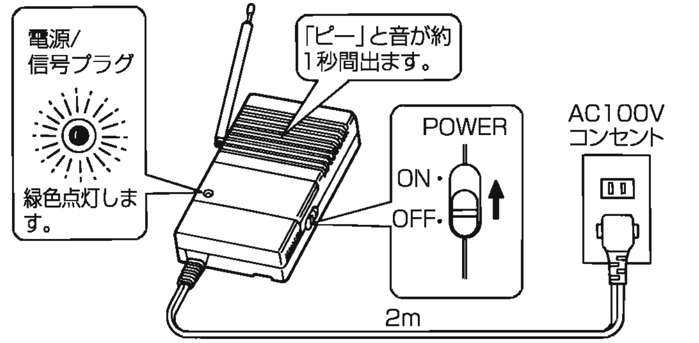
4 ご使用方法

1．フタの開け方


手前へ引く
こじあける
マイナスドライバ

2．電源

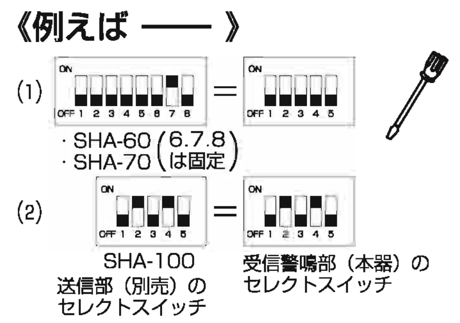
- AC100Vを使用します。
  右図のようにAC100Vコンセントへ本器の電源プラグを差し込んでください。
  電源スイッチを「ON」にすると、電源/信号ランプが緑色点灯し、同時にスピーカより「ピー」と音が約1秒間出ます。これは故障ではなく、操作確認音です。


電源/
信号プラグ
緑色点灯します。
「ピー」と音が約1秒間出ます。
POWER
ON・
OFF・
AC100V
コンセント
2m

3．セレクトスイッチ

- 隣近所の他のハイアラームシリーズとの混信を避けるために本器にはセレクトスイッチがあります。右図⑴⑵のように本器のセレクトスイッチと別売の送信部のセレクトスイッチとは必ず同じ組み合わせにしてください。違っていますと動作しません。なお、本器に電源が入った状態でセレクトスイッチを操作しますと操作ごとに「ピー」という音が約1秒間出ます。これは上記2同様、故障ではなく、操作確認音です。

《例えば ―― 》


(1)
ON
OFF 1 2 3 4 5 6 7 8
=
ON
OFF 1 2 3 4 5
・SHA-60
・SHA-70
（6.7.8は固定）
(2)
ON
OFF 1 2 3 4 5
=
ON
OFF 1 2 3 4 5
SHA-100
送信部（別売）の
セレクトスイッチ
受信警鳴部（本器）の
セレクトスイッチ

- 設定は小形㊀ドライバなどの先で行なってください。

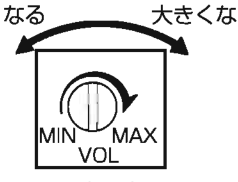
（注1）セレクトスイッチの設定の組み合わせは、上図の組み合わせを含めて32通りあります。

（注2）隣近所に他のハイアラーム3X又はハイアラーム3Zシリーズが設置されますと、混信して誤動作することがあります。このような場合は、セレクトスイッチの組み合わせを変えると解決できます。

4．音量ボリュームと報知音

- 本器の報知音は下記のように別売の送信部SHA-60、SHA-70またはSHA-100で確認してください。

※確認する前に必ず送信部の取扱説明書をお読みください。


小さくなる
大きくなる
MIN
MAX
VOL

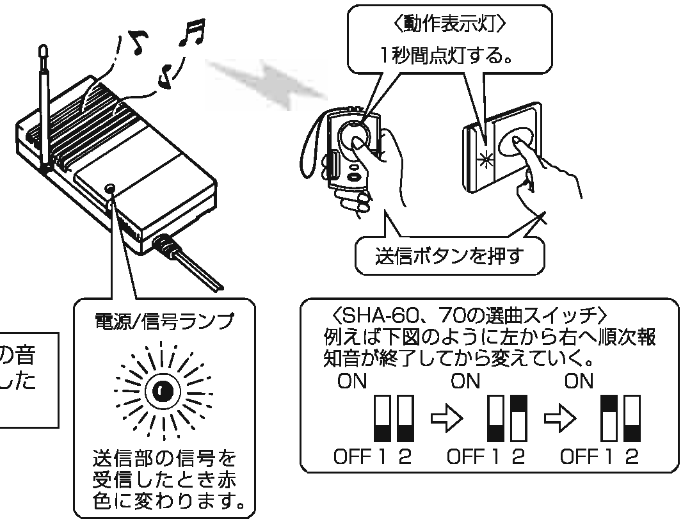
MIN…音は出ません
MAX…約75dB/m

音量は音量ボリュームによりお好みの大きさに調整してください。

送信部の電池が消耗してきますと、本器の報知音の音色が変わってきます。もし、音色が変化してきましたら送信部の電池を確認してください。

《別売の送信部との報知音の確認方法》

⑴ SHA60（別売）やSHA-70（別売）との確認方法


〈動作表示灯〉
1秒間点灯する。
送信ボタンを押す
電源/信号ランプ
〈SHA-60、70の選曲スイッチ〉
ON
OFF 1 2
ON
OFF 1 2
ON
OFF 1 2

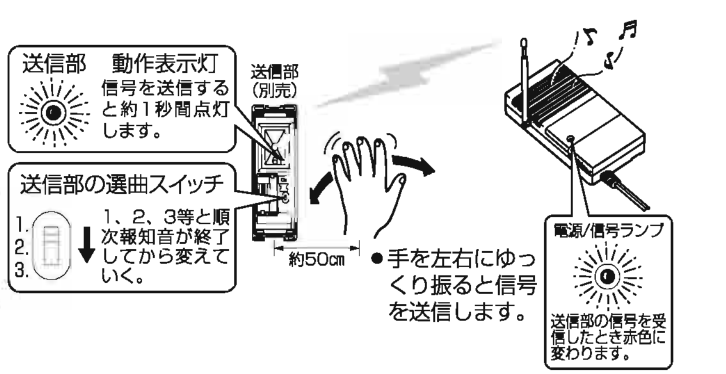
送信部の信号を受信したとき赤色に変わります。

例えば下図のように左から右へ順次報知音が終了してから変えていく。

－送信部の選曲スイッチと報知音の関係－

送信部		本器の報知音
SHA-60、SHA-70の選曲スイッチ	SHA-100の選曲スイッチ	
ON ▄▄ OFF 1 2	1	ピンポン
ON ▄▀ OFF 1 2	2	ポロロン
ON ▀▄ OFF 1 2	3	ピッピッピッ

⑵ SHA-100（別売）との確認方法


送信部 動作表示灯
送信部
（別売）
送信部の選曲スイッチ
1.
2.
3.
約50㎝
電源/信号ランプ

信号を送信すると約1秒間点灯します。

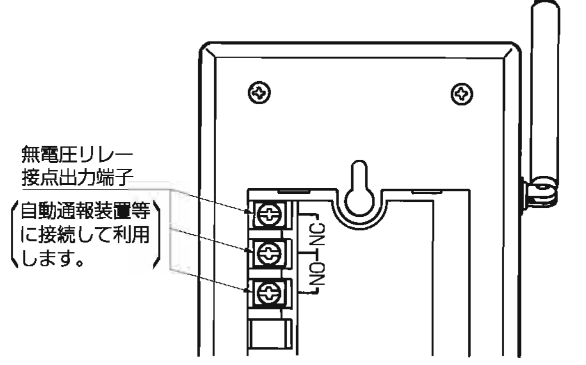
1、2、3等と順次報知音が終了してから変えていく。

- 手を左右にゆっくり振ると信号を送信します。

送信部の信号を受信したとき赤色に変わります。

5．無電圧リレー接点出力端子

- 送信部からの信号を受信すると無電圧リレー接点出力端子（NO端子とNC端子：C接点端子）は待機状態から動作状態（➡方向）になります。動作状態になっている時間は約3秒です。この時間が過ぎるともとの待機状態（⇦方向）へ戻ります。詳しい使用方法は⑥使用例2. 無電圧リレー接点出力への接続の項を参照してください。


無電圧リレー
接点出力端子
（自動通報装置等に接続して利用します。）
NC
NO

－無電圧リレー接点出力の動作－

無電圧リレー接点出力端子	待機状態		動作状態（約3秒）
NO端子	オープン（開）	➡ ⇦	ショート（閉）
NC端子	ショート（閉）	➡ ⇦	オープン（開）

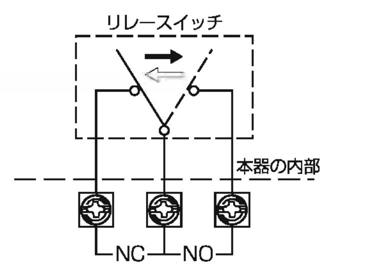
（注1）無電圧リレー接点出力と報知音発報は、送信部が信号を送信すると、同時に動作します。無電圧リレー接点出力だけを使用する場合は音量ボリュームをMINの位置にして音量をゼロにしてください。

（注2）無電圧リレー接点出力は、送信部が複数設置されていると、どの送信部に対しても動作し、判別できません。

（注3）無電圧リレー接点出力の容量は下記の通りです。下記の数値以上の電圧・電流を加えないでください。故障の原因になります。

無電圧リレー接点出力容量	**AC50V 0.2Aまで** **DC24V 0.2Aまで**

－無電圧リレー接点出力の構成－


リレースイッチ
本器の内部
NC
NO

6．非常通報モード

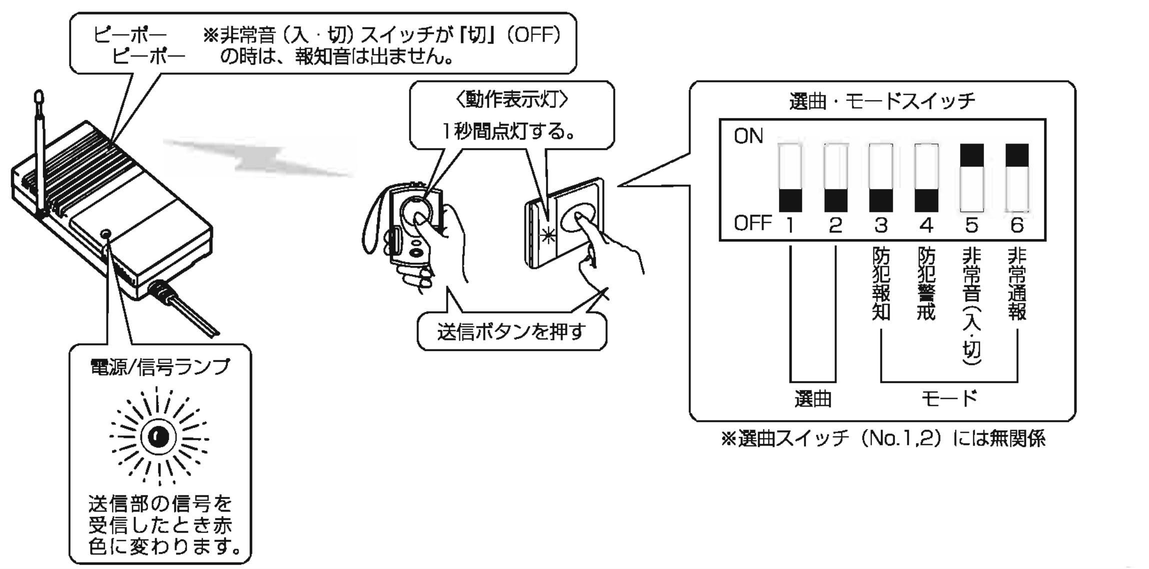
このモードは、別売の送信部SHA-60、SHA-70と組み合わせて使用する場合に設定できます。

- 別売の送信部SHA-60、SHA-70のモードを『非常通報』モードで『非常音』を入（ON）に設定してください。送信部の選曲スイッチに関わらず非常音（ピーポーピーポー）を発報します。

『非常音』を切（OFF）に設定した場合、非常音は発報しません。

電源/信号ランプは、『非常音』スイッチの入・切に関わらず信号を受信すると3秒間赤色で点灯します。

※リレー接点出力端子に自動通報装置（別売）や外部警鳴部（別売）などを接続して非常通報モード時に本器が信号を受信したことを確認できる場合を除き、送信部SHA-60、SHA-70の非常音スイッチは、入（ON）に設定してご使用ください。『電源/信号ランプ』のみでの確認では見落とす場合がありますのでご注意ください。

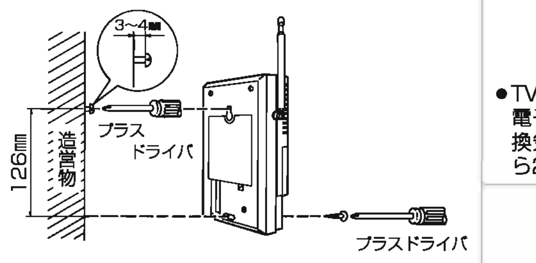

ピーポー
ピーポー
〈動作表示灯〉
1秒間点灯する。
送信ボタンを押す
電源/信号ランプ
選曲・モードスイッチ
ON
OFF 1 2 3 4 5 6
防犯報知
防犯警戒
非常音（入・切）
非常通報
選曲
モード

※非常音（入・切）スイッチが「切」（OFF）の時は、報知音は出ません。

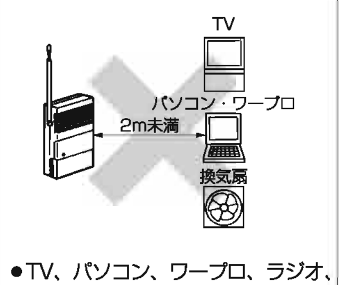
送信部の信号を受信したとき赤色に変わります。

※選曲スイッチ（No.1,2）には無関係

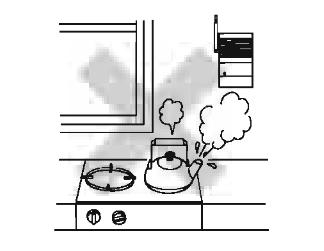
5 取付方法


3～4㎜
126㎜
造営物
プラス
ドライバ
プラスドライバ

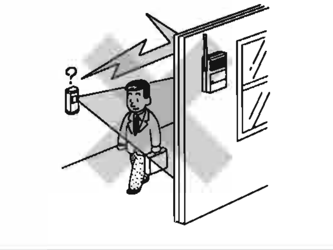
《取付上の注意》


TV
パソコン・ワープロ
2m未満
換気扇

- TV、パソコン、ワープロ、ラジオ、電子レンジやモータを内蔵した換気扇、冷蔵庫、洗濯機などから2m以上離してください。



- 湯煙や蒸気が直接かかる場所には設置しないでください。



- 鉄板、金網などが入っている壁や電灯線、配水管などとロッドアンテナが平行になるような場所への取り付けは避けてください。

6 使 用 例

1．送信部（SHA-60、SHA-70、SHA-100）との組み合わせ

3か所の侵入場所が報知音で区別できます。

《玄関》

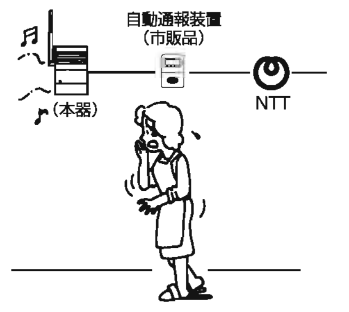
SHA-100
- 選曲スイッチ「1」に設定

《病床から》

SHA-60 ON ▄▀ OFF 1 2
- 選曲スイッチ

《浴室から》

SHA-70 ON ▀▄ OFF 1 2
- 選曲スイッチ


自動通報装置
（市販品）
（本器）
NTT